

2020 年度・博士課程教育リーディングプログラム
超域イノベーション博士課程プログラム

Basic コース履修生選抜
レポート課題

【 注 意 】

- (1) レポート課題の問題文は、次のページにあります。
- (2) レポート課題の解答は所定の解答フォーマットに入力し、Word ファイルと PDF ファイルの二つの形式で下記のメールアドレス宛てに二つのファイルを添付して提出してください。ファイルの総容量は 50MB 以下とし、ファイルのタイトルは「受験番号 氏名」としてご下さい（例：「1234 山田太郎」）。また、提出する際のメールの件名は「レポート課題 受験番号 氏名」としてご下さい（例：「日本の将来 1234 山田太郎」）。

提出期限：2020 年 8 月 5 日（水） 12:00（厳守）

提出先：selection@cbi.osaka-u.ac.jp

- (3) 解答の様式については、所定欄に氏名・受験番号などの必要事項を記入の上で、以下の体裁としてご下さい。
- ①フォントは 11pt を使用すること。
 - ②冒頭にタイトルを記載すること。
 - ③本文は 4000 字程度とすること。
 - ④行間を調整し、重要部を太字にするなど、可読性に配慮すること。
 - ⑤必要に応じて適宜ページを追加すること（ただし 4 ページまで）。
 - ⑥必要に応じて図表等を含めてもよい（カラー可）。ただし図表の下部に、自作の図表の場合にはその旨を明記し、引用の場合には出典を記載すること。
 - ⑦解答作成にふさわしい資料・データ・情報などを各自で収集し、それらの書誌的情報・URL 情報などについて、リファレンスリストを付すこと。解答作成に際して参考とした資料を全て記載すること。リファレンスリストには番号を付し、解答本文中で必要に応じて引用すること。必要に応じて適宜ページを追加すること（最大 2 ページまで可）。リファレンスリストは字数制限に含まない。
 - ⑧リファレンスはハーバード方式で作成すること
(記載例)
 1. 『9 月入学関連資料』, 第 6 回教育再生分科会, H19. 3. 13,
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouiku/3bunka/dai6/siryoku4.pdf>.
 2. 鈴木克明 (2005). 「教育・学習のモデルと ICT 利用の展望: 教授設計理論の視座から」, 『教育システム情報学会誌』, 22(1), 42-53.
 3. 吉田晴世 (2008). 『ICT を活用した外国語教育』, 東京電機大学出版局.

【レポート課題 問題文】

近年、Society 5.0 に対応して教育環境の ICT 化が推進されようとしてきたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって期せずして教育の ICT 化が急激に進行することとなった。これにより地方-都市間の教育格差の縮小が期待される一方で、種々の要因（家庭における通信環境・機器整備の負担、静謐な環境の有無、両親の IT リテラシー 等）により教育格差が拡大／新たに発生する懸念が指摘され始めている。

本問題について、小・中学校教育の ICT 化において考慮すべき課題（例：静謐な環境を確保できない児童の存在 etc.）を定義し、その課題を分析した上で現実的な解決方策をレポートにまとめよ。